

## **(2)新幹線と鉄道貨物の利用状況及び新幹線の 開業に伴う効果について**

新幹線の利用状況について

(JR北海道資料)



# 北海道新幹線 開業1年のご利用状況について

北海道新幹線開業後1年間(平成28年3月26日～平成29年3月25日)において、期間計 約229.2万人、一日平均で約6,300人、対前年164%のご利用となりました。

◇「はやぶさ」「はやて」のご利用実績(新青森～新函館北斗間)

	下り			上り			合計		
	本年	前年	対比	本年	前年	対比	本年	前年	対比
一日平均	約3,200人	約1,900人	166%	約3,100人	約1,900人	163%	約6,300人	約3,800人	164%
// (夜行除く)		約1,600人	(199%)		約1,600人	(195%)		約3,200人	(197%)

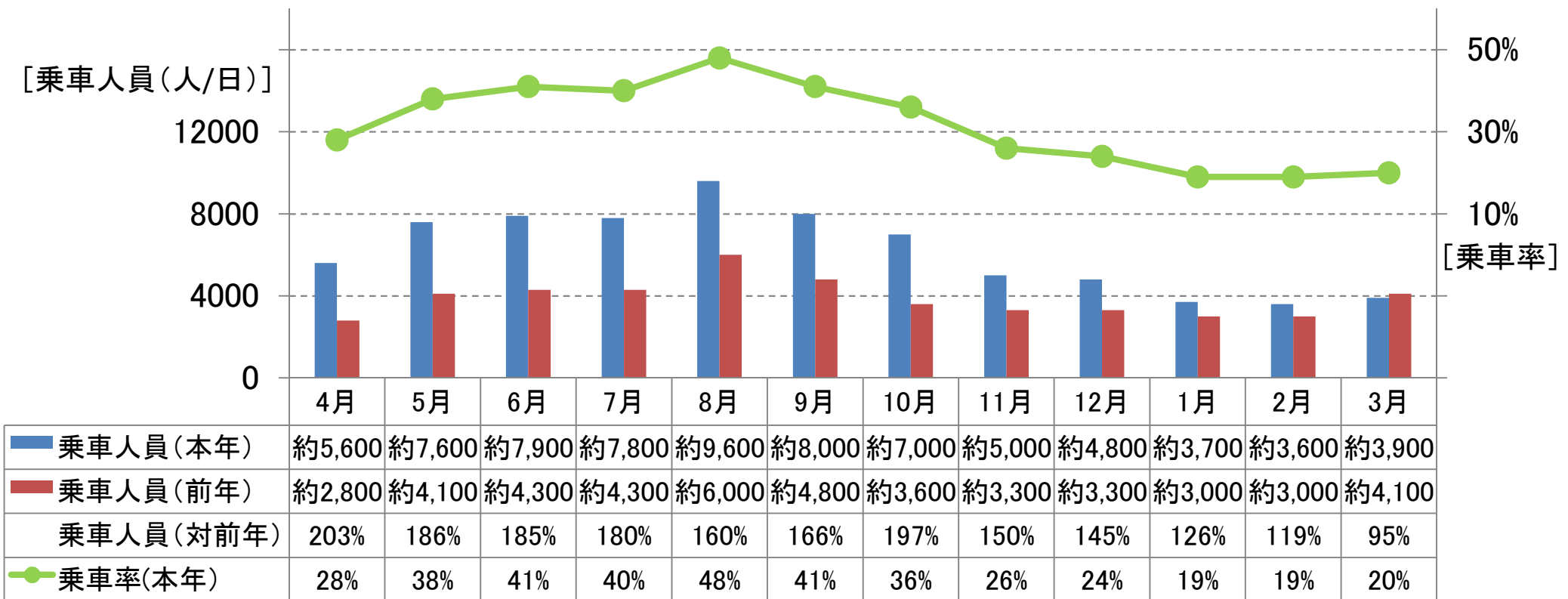
- ・在来線(中小国～木古内間)との前年同曜日比較
- ・合計値は四捨五入のため合わない場合があります

座席別のご利用状況(乗車率)

	下り				上り				合計			
	普通	グリーン	グランクラス	計	普通	グリーン	グランクラス	計	普通	グリーン	グランクラス	計
一日平均	33%	27%	30%	33%	32%	26%	28%	32%	33%	27%	29%	32%

# 北海道新幹線 月別乗車実績(前年比較)

4/1～3/31比較	平成28年度	平成27年度	増減
北海道新幹線	約6,200人/日 《乗車率32%》	約3,900人/日	+約2,300人/日(160%)



※ 前年同日の在来線(中小国～木古内間)特急・急行列車実績との比較  
但し、3/26～31は、新幹線(新青森～新函館北斗間)との比較

# 北海道新幹線 冬期対策について

北海道新幹線にとって、今冬期は営業開始後初めて冬でしたが、ポイント不転換によって大きな遅れが発生した事象が1件あったものの、概ね順調に推移しています。

道南・津軽方面も札幌のような暖冬のため、例年よりも比較的温暖で降雪・積雪も少なく推移しています。

そのような状況ですので、さまざまな冬期対策の効果を把握するためのデータも十分とはいえません。

今後も引き続き、冬期対策に取り組み、様々な対策の効果の確認に取り組んでまいります。

## <ポイント不転換の事象例>

○1月14日

木古内駅で上り方の在来線と新幹線が合流する三線分岐器でポイント不転換が発生し、「はやぶさ10号」が木古内駅を70分遅れで発車した。



対策：ポイントヒーターの増設を検討中

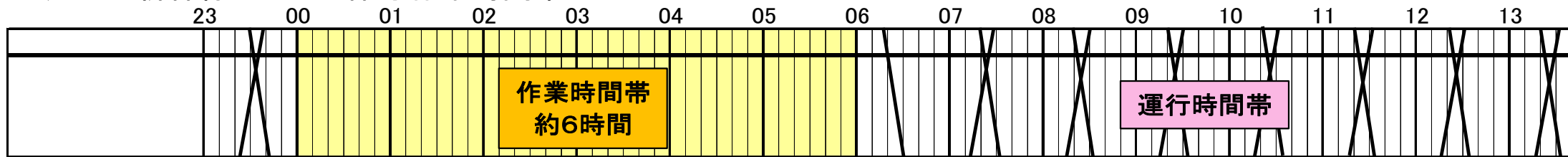
ポイントの可動部に  
氷雪が介在

# 北海道新幹線 保守作業間合いの確保について

通常の新幹線では、設備保守を行うための作業時間帯が夜間に6時間確保されていますが、共用走行区間では夜間にも貨物列車が多数走行することから、作業可能な時間が2時間半しか確保できず、さらに保守基地が遠方にあるために実作業時間は2時間弱となります。

より安全で高いレベルに設備を維持していくためには、保守時間の確保が必須なことから、短時間で効率的な作業を行えるよう目指すとともに、保守間合い確保について関係会社と調整を進めてまいります。

一般的な新幹線における保守作業時間帯のイメージ



青函共用走行区間における保守作業時間帯のイメージ

